

はじめに

21世紀の最初の10年が終わり、次の10年へと向かう今日、社会はかつてない状況変化の中にあります。学校教育もまた、課題が一層複雑化・多様化しており、不易の尊重とともに、流行への果敢な対応が求められております。

本県では、国の教育改革、県総合計画「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」の教育関連分野を踏まえながら、「有徳の人」の育成に向けて、教育計画「『人づくり』2010プラン後期計画」の次期計画として「静岡県教育振興基本計画」を策定しているところです。

このような中、平成21年度から一部先行実施されてきた新学習指導要領が、来年度小学校で完全実施の年を迎えます。

今後とも、子ども一人一人の主体的な学びの姿勢を高め、よりよい自分をつくっていく子どもを育むためには、教育の担い手である教職員の力に負うところが益々大きくなります。

当センターは、学校教育の充実のために、指導の具体的な内容や方法等を研究開発し、学校や地域に還元していくことが重要な任務と考えております。

長期研修員は、教員としての資質の向上と見識の涵養に努め、併せて学校及び地域の教育を推進する実践力を養うことを目的に、1年間研修を積んできました。

この報告書は、所属校が抱える課題や教育実践上の課題を基に、長期研修員自身が設定したテーマについて、「教育活動において研究と実践は一体である」ことに十分留意し、熟慮に熟慮を重ね、まとめたものです。

研究テーマである「校内研修の見える化」「メンタルヘルスプログラム」「会議のファシリテーション・スキル」「算数科における表現力」「論理的に思考する能力を高める読み」「生活に生きる食育」「小中の接続によるピア・サポート活動」は、これからの教育を進める上で大切な課題と考えております。

いずれの報告においても、長期研修員の教育課題解決への意気込みとともに学校及び地域の教育を推進するための実践力の向上につながる数々の方策を読み取っていただけるものと思います。

これらの報告を学校における日々の教育活動の参考として御活用いただければ幸いです。また、内容についての率直な御意見をいただきたいと存じます。

最後になりましたが、長期研修員の研究に際して、御支援と御協力をいただきました学校及び関係教育機関の方々に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

平成23年3月

静岡県総合教育センター
所長 三ッ谷 三善